

焼 き 板

会場	炊事場等	一人あたり費用	250円
人数	120人以内 (1班5~7人)	講師料	無し
時間	2時間	利用団体が用意するもの	軍手(綿製)・マスク ・古布

1 準備	(1) 服装を整え、着席します。
	(2) 講師の紹介、講師あいさつをします。
2 作り方	(3) 必要な用具、材料。 ※ 講師の指示に従い、準備します。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 焼き板用の板、火ばさみ、薪(1束)、焚き付け用の木、たわし、きり、ペンチ、ヒートンポスカ等のペン、紐、マッチ、新聞紙、(古布) </div> (4) 焼き板用の板を選びます。(大1個、小1個)
	(1) 薪で火を起こします。 (2) 火ばさみで板を持ち、裏表を均一に焼きます。 (3~4分程度) ※表面を焦がすだけだと、板の形を生かすことができます。しっかりと焼くと角が取れ、丸みのある木の模様が浮き出た焼き板を作ることができます。 (3) たわしで木目に沿って、丁寧にこすり煤(すす)を落とします。 (4) 光沢が出るまで、布でよく磨きます。※木目が浮き出てきます。 (5) 絵つけをします。 (6) ヒートン、紐をつけます。 (7) よく乾かして、完成です。    <留意事項> <ul style="list-style-type: none"> ・引率者は講師の補助を行います。 ・火を扱うので、板を焼く場合は軍手をつける。また、煤が多く出るのでマスクをつけるとよいです。 ・焼き板を持ち帰った後、ニスを塗ると長持ちする旨を伝えます。
3 指導講評	(1) 班ごとに活動をふり返り、発表者を決めます。
	(2) 班ごとに反省や感想を発表します。
	(3) 講師の指導講評を受けます。
4 後片付け	(1) 講師の指示により、炭や道具等を片付けきれいにします。
	(2) 使った用具を、もとあった場所に戻します。
	(3) 講師にお礼を述べます。